

1 単元名 武道「剣道」

2 単元の見どころ

- 相手の動きに応じた基本動作から、基本となる技を用いて、打ったり受けたりするなどの攻防を展開することができるようにする。(技能)
- 武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ることができるようにする。(態度)
- 武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方や技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。(知識、思考・判断)

3 単元にあたって

(1) 教材観

中学校学習指導要領解説保健体育編において、剣道は、「相手の動きに応じて、基本動作や基本となる技を身に付け、相手を攻撃したり相手の技を防御したりすることによって、勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わうことのできる運動である」と示されている。また、「技ができる楽しさや喜びを味わい、基本動作や基本となる技ができるようにする」と示されていることから、剣道は、基本動作を身に付け、勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わうことができる運動である。

(2) 生徒の実態

全国の剣道の授業を体験した中学生の41.5%が、「楽しくない」と答えており、本校生徒の意識調査の結果では、剣道についての知識をもっている生徒が27%と乏しく、剣道にマイナスイメージをもつ生徒が58%であり、剣道の特性や魅力に気付いていないことがわかった。

(3) 指導観

本単元では、学習教材の工夫をすることで、勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わいながら基本的な技能の定着を図ることができるようにする。まず、オリエンテーションで映像教材や資料を使い、剣道の特性や魅力に気付かせる。次に、動きやすく簡単に扱える学習教材を使い、ゲーム感覚で楽しく仲間と触れ合いながら活動することで剣道の基本動作である「中段の構え」、「体さばき」、「基本打突の仕方と受け方」などを身に付けることができるようにする。さらに、判定試合や攻守交代制の試合を行うことで「打った」、「勝った」と実感できるような学習教材を用いることで、身に付けた技の攻防を楽しむことができるようにしたい。

4 単元の評価規準（学習活動に即した評価規準）

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動の 知識・理解
①剣道の授業に◎積極的に取り組もうとしている。(観察) ②安全への配慮や周囲に気を配ったり相手を尊重したりするための礼法や所作を◎常に守ろうとしている。(観察)	①基本動作を身に付けるための運動の仕方についてのポイントを知るとともに、◎適切な自分の課題を見付けている。(カード) ②仲間と分担した役割に応じた◎適切な活動の仕方を見付けている。(カード)	①中段の構えから、体さばきを使って◎正しく基本打突ができる。(観察・カード) ②基本動作を生かして◎相手の動きに応じた技の攻防ができる(観察・カード)	①剣道の特性や伝統的な考え方について理解したことを◎正しく言ったり書き出したりしている。(カード) ②基本動作の行い方について理解したことを◎正しく言ったり書き出したりしている。(カード) ③学習した技の名称やそれぞれの技を身に付けるための技術的なポイントについて◎具体例を挙げている。(カード)

◎は十分に満足できる状況

5 指導と評価の計画(7時間扱い)

○：指導の機会, ↓□：観察評価の期間

時	学習のねらい・学習活動		評価計画			
			関	思	技	知
はじめ	1	○ 剣道の特性や魅力を理解する。	① ↑			① カード
		1 本時のねらいと内容を確認する。 2 剣道の特性や魅力について知る。 3 礼法や所作について知り, 一連の動作を行う。				
なか 1×2	2	○ 仲間と楽しく触れ合いながら, 剣道の授業に積極的に取り組んでいる。 ○ 基本打突の行い方について理解したことを, 仲間と言い合ったり学習カードに書いたりする。	↓		① ↑	② カード
		1 本時のねらいと内容を確認する。 2 礼法や所作の確認をする。 3 簡易竹刀で中段の構えを練習する。 4 簡易竹刀で体さばきを練習する。 5 簡易竹刀で基本打突を練習する。 6 木刀で新聞紙切りを行う。 7 新聞紙で作ったボール打ちを行う。 8 手ぬぐい取りのゲームを行う。 9 リズムステップと基本打突の打ち方を連動して行う。 10 相手の動きに応じた, 基本打突の打ち方を練習する。 11 学習を振り返り, 学習カードに記入する。				
なか 2×2	4	○ 勝敗を競う楽しさを味わいながら, 基本動作を身に付ける。 ○ 学習した技の名称や身に付けるための技術的なポイントについて具体例を挙げる。	↓		① ↑	① 観察 カード
		1 本時のねらいと内容を確認する。 2 礼法や所作の確認をする。 3 簡易竹刀で中段の構え, 体さばき, 基本打突の一連の動作を練習する。 4 グループで基本動作の練習を行う。 5 ICTを使って, 正しい基本動作について確認する。 6 グループで判定試合を行う。 7 学習を振り返り, 学習カードに記入する。				
まとめ ×2	6	○ 仲間と分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。 ○ 基本動作を生かして, 相手の動きに応じた技の攻防ができる。	↓		② ↑	③ カード
		1 本時のねらいと内容を確認する。 2 グループで基本打突の練習を行う。 3 簡易竹刀で攻守交代制の試合を行う。 4 簡易竹刀で判定試合を行う。 5 学習を振り返り, 学習カードに記入する。				
⑦ 本時	7			② ↑	② 観察 カード	

6 本時の学習（7 / 7 時間）

(1) 目標

- 基本動作を生かして、相手の動きに応じた技の攻防ができる。（技能）
- 仲間と分担した役割に応じた適切な活動の仕方を見付けている。（思考・判断）

(2) 準備・資料

簡易竹刀，ヘルメット，ゴーグル，胴，審判旗，学習カード，筆記用具，竹刀

(3) 展開

学習活動・内容	生徒への支援・評価
<p>1 あいさつ，健康観察を行う。</p> <p>2 本時の目標と内容を確認する。</p> <p style="text-align: center;">試合を通して，勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わおう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・列の整頓を促し，元気よく挨拶するとともに，生徒の顔色や体調に注意して健康観察を行う。
<p>3 ヘルメット，ゴーグル，胴を付ける。</p> <p>4 グループで小手・胴・面の打ち込み練習を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○ 基本動作を意識する。</p> <p>かかり手 ◎ ← → ◎ 元立ち</p> <p>かかり手 ◎ ← → ◎ 元立ち</p> <p>内容：構え→小手→胴→面→残心</p> </div> <p>5 攻守交代制の試合を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(記録者) B B A (審判)</p> <p>(試合者) A × B (試合者)</p> <p>(記録者) A A B (審判)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・4人の班で役割を決める。試合者を1人，審判を1人，記録者を2人とする。 ・30秒間で一方が打ち込み，時間がきたら交代する。 ・審判は，打突部位を捉えたら積極的に旗をあげる。 ・記録者は，有効打突の本数を数えながら基本動作チェックシートに記録する。 <p>6 竹刀を使って基本動作のチェックを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・胴は，互いに付け合うようにする。 ・打つ前，打ったとき，打った後のポイントを，基本動作チェックシートで確認しながら行うようにする。 ・かかり手が打ちやすいように，元立ちの動き方を指導する。 ・打ち込み練習が終わった時に，改善点を指摘する時間を設ける。 ・攻撃側は，正しい構えから，基本動作を意識しながら打てるように指導する。 ・相手の動きに応じて技が出せるように，ヒントを提示する。 ・防御側は，姿勢を崩さないように，体さばきを使って防御できるように指導する。 ・審判は積極的に有効打突を判定できるようにする。 ・礼法や所作ができるように促す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【技能】</p> <p>基本動作を生かして，相手の動きに応じた技の攻防ができる。（観察・カード）</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【思考・判断】</p> <p>仲間と分担した役割に応じた適切な活動の仕方を見付けている。（カード）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・基本動作を意識して練習したことで，竹刀でも行えることを実感できるようにする。
<p>7 本時の課題を振り返り，単元のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カードに記入する。 ・事後アンケートを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードの記述に，技能に関する内容を書くようにする。 ・日本固有の文化に触れ，礼法や所作を学んだことを，日常生活に生かしていくように伝える。 ・身に付けた基本動作を大切にして，2年次に竹刀を扱うことを予告する。